

## 平成 26 年度 調査内容の概要

### 1. 計画の検討

#### 1.1. 調査方針

検討対象とする生物を選定し、抽出された生物各々の検討内容、留意事項及び課題について検討する。なお、伊勢湾の生態系や漁業において重要と考えられる種類を対象種とする。

#### 1.2. 現地調査計画

調査方針から想定される必要な現地調査計画を検討する。

具体的な現地調査計画（案）の内容については、本検討会における資料 4 にとりまとめている。

### 2. 伊勢湾シミュレーターによる現況再現

本調査における現地調査結果を基に、妥当性等を検討し、数値シミュレーションによる現況再現を行う。なお、使用する数値シミュレーションモデルは、「伊勢湾シミュレーター」とする。「流動モデル+浮遊生態系モデル+底生生態系モデル」にて実施することを基本とし、鉛直層区分は湾内 1~2m ピッチ程度、計算格子については、最小格子は 200m 以下、最大格子は 800m を想定している。確認項目は流れ、水温、塩分、DO(溶存酸素濃度)、クロロフィル a、栄養塩類とする。

### 3. 委員会

以上の内容を委員会において検討する。委員会は 3 回を予定しており、主な検討内容は表 3.1 に示すとおりである。

表 3.1 委員会の検討内容（予定）

回次	主な検討内容
第 1 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 現地調査計画</li> <li>▪ 調査方針</li> </ul>
第 2 ~ 3 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪ 現地調査結果</li> <li>▪ 現況再現</li> <li>▪ 調査方針</li> </ul>

以上